

平成 26 年度宮城県支部総会の開催

地方の同窓会支部の弱体化が叫ばれ久しい。当支部においても、総会参加者は固定化され、さながら総会は役員会のような状況が続いている。会員が出来るだけ集まりやすくするようこれまでも、新進気鋭の本学教員を講師に招聘し学術講演会を開催したり、隣県支部との合同総会などを企画してきたが、劇的な改善とはなっていない。特に若い卒業生は、いわゆる「群れる」ということを忌避する傾向があり、同窓会を除名してほしいとの連絡もあり、事務局としては、対応に苦慮することもある。

こうした中、ここ数年、時期的には、ずれ込むが「新春懇談会」として正月明けに開催している。比較的診療業務が閑散する時期でもあり、産業動物関係の先生方からは歓迎されている。

今年度も、この方式で平成 27 年 1 月 10 日に開催した。来賓として浅利新学長をお招きしたことも功を奏し、先生と同級の顔ぶれもそろった。また、職域ごとの先輩諸侯の声がけもあり若手の参加も今回は増えた。継続している技術研修会も実施し、学理討究の建学の精神を受け継ぐことも出来た。総会で提案いただいた若手の参加をさらに促進するための努力をこれからも続けるため役員一同さらに尽力したい。（事務局 佐藤俊郎 V51 年卒）

